

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)家庭での読書活動支援事業	1,832	0	1,832				1,832	
トータルコスト	4,318千円（新規）							
従事する職員数	正職員：0.3人							
主な業務内容	関係先との連絡調整、書籍の購入等							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
職場及び通学中において気軽に本に触れられる機会を提供することにより、家庭での読書を習慣づける契機とする。								
2 事業費								
（単位：千円）								
区 分	予算額	事業内容						
企業文庫支援事業	1,067	家庭での読書を支援するため、家庭教育推進協力企業と連携して企業文庫を整備する。 ○東中西部地区の家庭教育推進協力企業に対して、絵本や児童書、ベストセラー本50冊を1セットとして貸出す。 （3地域3企業の9企業でモデル的に実施） ○企業は事業所内に貸出された本を設置し、従業員へ本を貸出す。貸出簿を設け、本の貸出の状況を把握する。 ○2ヶ月経過ごとに、貸出している本を別の50冊と入れ替える。 ○貸出図書については、県立図書館の所有本（主に絵本や児童書）と新たに購入する図書を、市町村立図書館を経由して、企業に貸出す。						
本のあるまちづくり支援事業	765	若桜鉄道と連携して、駅舎に図書を整備することで、待合時間や乗車時間を利用して読書ができる環境を整備する。 ○若桜鉄道の若桜駅、丹比駅の駅舎に各100冊程度の絵本や中・高校生向けの図書、駅のイメージに合った図書コーナーを整備する。 ○駅舎の本は、列車内に持ち込み、下車時に返却可能。 ○図書の配置は、駅舎に職員が常駐する若桜駅と沿線の中学生が最も多く利用する丹比駅の2駅とする。 ○両駅とも、鍵のかかる書架とし、沿線住民に開錠、施錠、監視を依頼する。（有償ボランティア） 利用時間（例）若桜駅 8:00～17:00（若桜鉄道職員常駐） 丹比駅 16:00～17:30（ボランティア常駐） ○若桜鉄道職員、若桜町、八頭町両図書館に本の点検と修繕、資料の充実に協力してもらう。						